

学校名 鹿児島市立平川小学校

項 目	活動内容等
1 推薦機関が受賞候補校等を推薦する理由	<p>鹿児島湾沿岸にある豊かな自然にある本校では、1～4年生の児童が学校近くの海岸に赴き、海岸の清掃活動を行う。</p> <p>環境教育の一つとして、4年生が総合的な学習の時間を通して、1年間ごみの分別などの活動を鹿児島環境未来館の協力のもと、学習を行っている。</p> <p>また、5年生は、生ごみの再活用としてコンポストを設置し、肥料を作って学級園に生かしている。</p>
2 受賞候補校等の活動状況等	<p>平川小学校では、平成16年から平川海岸の清掃活動とそれに伴う野外炊飯活動を年1回、全学年で取り組んできた。</p> <p>この活動のねらいは、海岸清掃をすることで郷土の美しい海を未来に残そうとする心情や集めた流木等を生かすことで、エコにも目を向けさせ、進んで生活に生かそうとする意欲を高めるためである。今年度は、美しい自然を大切にしようとする児童を育てるために、縦割り班活動での助け合いや交流を深めながら、ごみの3Rに着目した環境教育に重点を置いた活動による環境保全に努めたい。</p>
(1) 活動の動機・頻度	
① 活動を始めた動機及び開始年月	
② 活動の愛称名があれば記入して下さい	平川クリーン作戦
③ 月間又は年間活動回数	<p>3年生 「環境とわたしたち」(23時間) 「ふるさと再発見」(17時間)</p> <p>4年生 「ごみのない世界へ」(26時間)</p> <p>5年生 「環境問題について考えよう」(26時間)</p> <p>1～4年生 「平川クリーン作戦」(年1回2時間)</p> <p>1～6年生 PTA空き缶・廃品回収(学期3回)及び校区清掃に参加(毎月1回) 親子歩こう会(毎月1回第3日曜日)</p>

項 目	活動内容等	
④ 活動のエリア	海 岸 清 掃	野 外 炊 飯
	平川サンライズマリーナ近くの平川海岸	平川小学校 敷地内
	1～4年生（64名） 教職員（6名） 保護者（5名程度）	5・6年生（29名） 教職員（6名） 保護者（5名程度）
	100分程度（休憩を含む）	炊飯活動60分（休憩を含む）
⑤ 活動1回当たりの平均参加者数		
⑥ 活動1回当たりの平均時間		
⑦ 収集物の処理	鹿児島市のごみ分別に決まりに従い、分別しながらごみ拾いを行う。収集したごみは学校に持ち帰り、分別を確認した後、ゴミ出しの日に処分する。	海岸清掃で拾ってきた流木の内、燃料として適しているものを活用して、飯盒炊飯に役立てる。その後の炭は肥料や消臭剤として活用する。
(2) 活動の独創性 活動の特徴	児童を縦割り班に分け、児童同士が協力して海岸清掃活動を進める。また、（おやじの会を中心に）保護者の協力で軽トラックなどを出していただき、運搬してもらう。	海岸清掃と並行して炊飯活動も行うことで各学年の時数を効率的に運用できる。 また、平時にない防災意識の向上にも役立てている。
(3) 地域への貢献度	保護者や地域の方々と一緒に行うことで、地元の美しい平川海岸の環境を守っていききたいという意識は高まってきている。	
① 地域の環境美化への貢献		
② 地域住民との協力活動	保護者を中心に、清掃活動への参加を呼びかける。おやじの会に協力をもらい、ごみの運搬等をしていただく。	おやじの会を中心に5・6年生が実施する炊飯活動の指導及び援助として協力を呼びかける。
③ 児童・生徒の活動に対する地域住民の反応	地域住民も平川海岸に対して深い愛情を持っており、平川小児童が平川海岸を清掃することに対して大変好意的で理解も得られている。 また、地域住民も環境保全に関心が高く、地域の行事の後には、必ずごみ拾いをする姿がある。その姿を児童は幼いころから見ているので、自分たちも地域の環境保全に関心が高い。	

項 目	活動内容等
(4) 環境教育との関連 ① 環境教育と活動との結びつき	人や自然への思いやりの心もち、よりよい環境づくりに積極的に関わろうとする子供を育成することを目標に掲げ、地域の自然に親しむ体験的活動を推進し、自然とふれあい、自然を愛護し、郷土の文化財なども大切にする実践力の育成を図っている。
② 活動開始後の児童・生徒の美化意識の変化	平川小校区の美しい海岸にいろいろな種類のごみが打ち上げられていることを知り、そのごみを拾って環境美化に対する意識を高めている。特に上学年においては、この海岸清掃活動のほかに、奉仕活動・ボランティア活動に積極的に関わろうとする児童が増えてきている。
③ 当該活動以外の環境教育実践活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合的な学習の時間でのびわの栽培と収穫（3・4年生） ・ 総合的な学習の時間での環境問題学習（3～5年） 3年：動物と環境、4年：ごみのない世界へ（ごみの3R教室実施）、5年：環境問題について考えよう。（ダンボールコンポストの取組） ・ 漁業の観点から錦江湾の自然について学ぶ魚食推進事業（5・6年児童によるヒラメの稚魚放流体験） ・ 飼育栽培委員会による植物の栽培活動、児童集会での3R運動の啓発、節電・節水の呼びかけ（使用量を棒グラフで表し、環境コーナーに表示） ・ 学校版環境ISO活動を元に環境チェックカードによる毎月の反省（15項目）と次月の目標を放送で周知 ・ 一人一鉢活動での全校児童による栽培活動
(5) 当該活動で他の表彰を受けたことがありますか (受賞年月日と表彰機関名)	第25回環境美化教育優良校
(6) 校内外活動のための時間の作り方	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校時表運用の工夫（時間割を弾力的に） ・ 委員会活動の時間で準備等を行う。 ・ おやじの会の協力によるごみや流木等の運搬を行っている。 ・ クリーン作戦と炊飯活動の担当を上下学年に分け、活動を同時に行ことで時間が短縮され効率な運用が可能になっている。
3 その他特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鹿児島環境未来館の方と協力し、ごみの分別や減らす方法などの工夫を続けていく。

「ごみの3R教室」

鹿児島市環境未来館をお招きし、方が来られて、ごみの分別について学習している。

3Rとは、リデュース(Reduce:ごみを減らす)」「リユース(Reuse:繰り返し使う)」「リサイクル(Recycle:再資源化)」の3つの考え方で、それを基本として、学校でできる3Rを考えていく。

そこから、家庭、地域、地球と広がっていけることを願っている。



「まち美化教室」

「まち美化教室」では、鹿児島市の協力により、「まち美化」に取り組む活動を学習している。ポイ捨てはいけないことやごみ拾いボランティアのことなどを学び、それを通して、校内、家庭、地域の環境をよくしていこうという気持ちが高まるようにしていきたい。

この活動から、地域の清掃活動やごみを見つけたら「ごみを拾う」ことが自然な気持ちで体が動くような「ぽかぽか行動」を進んで実践する児童になってきている。



稚魚の放流

谷山漁港の方の協力のもと、稚魚の放流を行った。令和6年度はヒラメの稚魚、令和7年度は真鯛の稚魚を放流した。

放流することで、鹿児島湾に生息する魚が増え、魚の住みやすい海にしていきたいという気持ちを込めて放流した。

そのような環境にするために普段から、水の使い方やゴミの分別などに気を付けている。



環境チェックカード

児童会の環境委員会を中心に全校で取り組んでいる。各学級毎月意識して、取り組むことで環境を大切にする心が育まれている。

項目としては、「教室・トイレなどの照明は使っていないときは消す」「学用品は大切に使う」「ごみの分別をする」などがある。また、毎月のごみを出した回数を表示し、より少ないごみの量にすることを意識させている。

かんきょう
環境チェックカード

(3) 年

かんきょう 環境	かんきょう 環境	かんきょう 環境	かんきょう 環境	かんきょう 環境	月 別 点 数				
					4月	5月	6月	7月	8月
1 教室・トイレなどの照明は、使っていないときは消す。	①	②							
2 給食の食べ残しは資源に燃かす。	③	④							
3 資源のしゅぼは資源に燃かす。	⑤	⑥							
4 紙は、しゅぼにしないし、いりはいりしない。	⑦	⑧							
5 資源を捨てるときは、コップを使う。	⑨	⑩							
6 資源のしゅぼは資源に燃かす。	⑪	⑫							
7 えんぴつ・消しゴムなど、学用品を大切に使う。	⑬	⑭							
8 紙は、うらの面まで利用する。	⑮	⑯							
9 こみを集めていりから燃かす。こみ資源は燃かす。	⑰	⑱							
10 資源を捨てるしゅぼにしない。	⑲	⑳							
11 こみの資源をしっかりとる。	㉑	㉒							
12 資源の資源と燃かしてリサイクル資源に燃かす。	㉓	㉔							
13 資源の資源は資源に燃かす。	㉕	㉖							
14 資源の資源の資源は資源に燃かす。	㉗	㉘							

※ ①～⑭は、かんきょう委員会が、毎月1回、各学級の教室・トイレなどを巡回して、点検しています。

※ ①～⑭は、かんきょう委員会が、毎月1回、各学級の教室・トイレなどを巡回して、点検しています。

※ ①～⑭は、かんきょう委員会が、毎月1回、各学級の教室・トイレなどを巡回して、点検しています。

(3) 年級 かんきょう委員会 (1) 学級

出たごみの量	月 別 点 数					計
	4月	5月	6月	7月	8月	
出たごみの量	1	2	3	4	5	計

ダンボールコンポスト活動

5年生が総合的な学習の時間にコンポストで肥料作りをしている。

毎日、当番制で肥料作りのために活動している。

肥料ができれば、それを学級農園に混ぜて、野菜作りをする。



コンポスト 当番表

月	火	水	木	金

日替わりで当番を決めて児童が肥料作りをしている。



環境委員会の発表

児童会：環境委員会のみんなが、自分たちで作成したスライドを提示しながら、全校児童に環境を守ることの大切さを伝えた。

自分たちが普段取り組んでいることの大切さ、意義などを自分たちの言葉で低学年にも分かりやすく伝えることができた。



「平川クリーン作戦」

学校の前に広がる海岸沿いを1～4年生を縦割り班にし、海岸のごみを拾う活動をする。それぞれの班のリーダーの4年生が1学期から学んできたごみの分別の仕方をもとに鹿児島市のごみの分別のルールに従い仕分けをして、学校へ運び、ゴミステーションに出す。様々なごみを見ながら、家庭からのごみの多さや中には外国からのごみもあるのを見ることもある。自分たちの生活を見直す機会にもつながっている。

また、拾った流木などの再利用として、それらを燃料にし、飯盒炊飯をする。PTAおやじの会の方々の協力をいただきながら、安全に配慮しながらご飯を炊く。それを全校児童で食べる。自分たちの育っていく平川 환경을大事にすることで、環境にもやさしく、美しく、さらにおいしい体験ができる、3拍子揃った活動である。

